

令和3年度認定

【計画名：彦根城・彦根城博物館を拠点とした文化観光推進地域計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R3			R4			R5		R6		R7	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
拠点施設来訪者数_日本人(千人)	844	449	53%	866	600	69%	888		932		976	
拠点施設来訪者数_外国人(千人)	2	2	100%	22	5.6	25%	45		57		69	
市内宿泊者数_日本人(千人)	436	226	52%	439	589	134%	443		450		457	
市内宿泊者数_外国人(千人)	2	0.2	10%	11	0.8	7%	23		31		40	
来訪者の満足度_日本人(千人)	5.78	5.78	100%	5.83	6.27	108%	5.88		5.94		6.00	
来訪者の満足度_外国人(千人)	6.48	調査未実施	—	6.53	調査未実施	—	6.58		6.64		6.70	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や市の施策の影響や新型コロナウイルス感染症に対する意識の変化で観光客が増えたことから、拠点施設来訪者数は目標を下回ったものの、市内宿泊客数は目標達成した。 ・外国人観光客の項目は、国の水際対策による入国制限が影響して伸び悩んだことから、目標は達成できなかった。 ・アンケート調査による満足度としては、一定の評価を得ている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人観光客数が極端に少ない状況であったため、外国人の満足度については調査実施を断念した。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響によるところが大きい。 ・令和4年度はまだ完全回復とはいかないが、来訪者が戻りつつあった。 ・日本人の来訪客の満足度が飛躍的に向上したが、これまでの行動制限の反動の可能性も考えられる。 ・外国人観光客については、現在増加傾向にあり、今後の動向を注視したい。
--

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R3	R4	R5	R6	事業類型ごとの実績額
事業1-①	解説・紹介文の制作展開事業	解説文を制作する文化資源の検討等を実施	解説板設置、PRビデオ作成			13.0百万円
事業1-②	開国記念館常設展示リニューアル事業	令和4年度より着手予定	城下町に関する企画展を実施			
事業1-③	彦根藩資料調査研究活用事業	関連資料の資料調査を実施	外部専門研究者との共同研究会を実施			
事業1-④	文化資源魅力体感事業	現地見学会等の開催	現地見学会等の開催			
事業1-⑤	伝統芸能・伝統芸道体感事業	画像に係る委託と閲覧用の機器のリース契約を完了	機器のリース継続、画像閲覧サービス提供			
事業1-⑥	歴史・文化発展継承事業	ボランティアガイド協会への運営補助を実施	ボランティアガイド協会への運営補助を実施、茶道体験教室開催			
事業1-⑦	多言語情報提供強化事業	解説文作成の委託契約を完了、多言語パンフの仕様等の検討を実施	英語解説文をホームページで公開			
事業1-⑧	観光行催事事業	観光イベントを実施	観光イベントを実施			
事業1-⑨	文化資源周遊観光促進事業	周遊スポット等の検討等を実施	多言語音声ガイドの整備、周遊マップ制作			
事業1-⑩	特別史跡彦根城跡鳥獣被害調査・生態調査実施事業	令和6年度より着手予定	令和6年度より着手予定			
事業2-①	周遊観光アクセス向上事業	巡回バスの運行支援およびレンタサイクル事業の実施	巡回バスの運行支援およびレンタサイクル事業の実施、グリーンスローモビリティ社会実験実施			0.2百万円
事業2-②	観光客アクセス向上事業(パーク・アンド・バスライド)	秋に社会実験を実施、秋の社会実験では有料(500円/台)で実施	秋に社会実験を実施			
事業2-③	観光客アクセス安全確保事業	道路改良工事実施	道路改良工事実施			
事業2-④	観光地案内等情報提供充実強化事業	旧城下町地区内に公共サイン(案内および誘導サイン)の設置を実施	旧城下町地区内に公共サイン(案内および誘導サイン)の設置を実施			
事業2-⑤	おもてなし空間整備事業	多目的グラウンドの整備、複合遊具等の整備、交通量調査委託業務を実施	公園整備等実施、土地の鑑定評価実施			
事業2-⑥	キャッシュレス支払システム導入事業	関連機器のリース契約の完了とレシートプリンターの購入	キャッシュレス決済継続			0.8百万円
事業3-①	商品・グッズ等開発事業	絵葉書と御城印の作成	御城印・不織布トートバッグ作成			
事業3-②	拠点施設を活用したツアーメニュー開発事業	夜間公開連携事業およびツアー企画の検討等を実施	夜間公開連携事業・茶席事業実施			
事業3-③	拠点施設を活用したにぎわいづくり事業	事業内容の検討等を実施	「殿様の日常」体験事業実施			—
事業4-①	文化観光情報発信事業	観光ホームページの改修、twitterの新規開設等を実施	ホームページ、SNSを継続運用			
事業4-②	文化観光誘客プロモーション事業	各種媒体を活用した広告掲出および観光展への出展を実施	各種媒体を活用した広告掲出および観光展へ出展			

事業5-①	彦根城内看板整備事業	令和4年度より着手予定	案内看板作成支援			20.3百万円
事業5-②	彦根城博物館リニューアル事業	計画策定に係る委託契約を締結	工事の実施設計を実施			
事業5-③	彦根城博物館館展示ケース整備事業	フィルム貼付とケースの購入の契約を締結	フィルム貼付と行灯ケース購入			
事業5-④	佐和山史跡公園環境整備事業	整備内容等の検討、来訪者アンケート実施	整備内容等の検討、来訪者アンケート実施			
各年度ごとの実績額→		18.4百万円	15.9百万円			34.3百万円

④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業1-③ 基礎研究を基に、観光ガイドにも活かしやすい内容としたことから、目標を上回る実績を得られた。 ・事業1-⑤ 令和4年度は来館者の7%がサービスを利用している。 ・事業1-⑦ 外国人が主だった館蔵品の英語解説文にアクセスできるようになった。 ・事業2-④ 公共サイン整備では、これまでのサイン設置により旧城下町地区内の回遊性の向上に繋がっている。 ・事業2-⑥ キャッシュレス決済の利用率は19%に上っている。 ・事業3-③ 彦根でしか味わえない特別な体験ができるコンテンツとして作り上げた。 ・事業5-② 本事業の効果は工事後に発揮されと考えられる。 ・事業5-③ 展示品の見やすさを大きく向上させることができた。 ・補助の採択から外れたため、事業規模が縮小した（事業1-⑥、1-⑦、3-①、3-②、4-①など） <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業1-③ 基礎研究を進め、それを基に情報を整理して提供したことにより、来館者の満足度向上のみならず、ガイドの質向上にも寄与している。 ・事業1-⑤ コロナ禍で公演が実施できない中、入館者が常時伝統芸能を体感できることは意義がある。 ・事業1-⑦ 外国人が館蔵品の魅力の一端を知ることができるようになったことは意義がある。 ・事業2-④ 公共サイン整備では、計画どおり進めた。 ・事業2-⑥ 率は前年を下回ったものの、利用数は着実に増加している。利便性の向上だけでなく、非接触による感染症予防にも寄与している。 ・事業3-③ 今後、コンテンツ内容を活用したツアー等の造成に期待ができる。 ・事業5-② 令和5年度・6年度に実施予定のリニューアル工事に向けて、設計を完成させた。 ・事業5-③ フィルム貼付により映り込みがほぼなくなったほか、新しいケースの導入より、作品をより鑑賞しやすくなっている。 ・不採択となった事業内容は、別の手法を検討していく。
--

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	文化観光拠点施設名	彦根城	彦根城博物館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		世界遺産登録を目指し、彦根城とその周辺文化資源の魅力伝えるべく、現地見学会等を実施した。	彦根城博物館が所蔵する彦根藩井伊家文書（重要文化財）などから、彦根藩の殿様の日常生活を明らかにする研究会を組織し、基礎研究をさらに進めた。古文書から得られた研究成果は、情報整理した上で、公開研究会や彦根城博物館の展示、広報誌などでわかりやすく紹介した。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		スマートフォンを活用した多言語音声ガイドの実装を目指している。	スマートフォンのアプリを活用し、展示解説を日本語と英語で行う音声ガイドの提供を開始した。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		外国人観光客ターゲットとし、彦根城周辺の施設について多言語音声ガイドの整備を行った。	彦根城博物館や井伊家伝来の名品などについて、英語ネイティブのライターが外国人目線で一から執筆した英語の作品解説文をホームページから閲覧できるようにした。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		彦根城域における観光行事を開催するとともに、観光に関するホームページの運営を行っている。また観光展等への共同出展も行った。	彦根藩の殿様の日常生活を明らかにする研究会を組織し、広く市民や関係団体にわかりやすく研究成果を紹介した。とりわけ、彦根ボランティアガイド協会については、公開研究会への参加等を通して連携強化を図り、情報共有を進めた。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		観光動向を把握するために、来訪者数の把握および情報共有を行った。また、観光客満足度調査におけるアンケート調査を実施した。	彦根城博物館入館者数/彦根城入場者数（向上させ20%を目標）の把握を行い、R1年度16.2% → R2年度19.2% → R3年度17.2%→R4年度17.2%となった。博物館への誘客に向け、事業のさらなる進捗が必要と考える。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立		各団体が彦根市文化観光推進協議会に参画しており、3月に協議会を開催した。	

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

評価者	評価内容
彦根市文化観光推進協議会	<ul style="list-style-type: none">・観光客に彦根らしい文化を感じ取ってもらうための彦根城博物館の役割は大きい。・本物の文化、彦根の良さを体感できる有力なコンテンツである。・コロナ禍であるにもかかわらず、満足度は向上している。・年齢の若い層への訴求についての取組が必要。
公益社団法人彦根観光協会	<ul style="list-style-type: none">・まだまだ知られていない文化資源をもっと活用することが望ましい。・観光客が何を求めているのか、費用対効果を含め、地域全体で検討する必要がある。・世界遺産登録を目指していることを意識的に出し、そのうえで市民生活と観光客の利便性との両立を図ることも必要。・湖東圏域での地産地消を取り入れ、地域独特の食材を活用して、SDGsにつながるという意識を持つ。

⑦今後の改善の方向性

- ・公共サイン整備では、他のメディアとの連携ならびに情報の更新などに適宣対応していく。
- ・今後もアンケート調査等を実施し、観光客のニーズを把握して改良を進めていく。
- ・ミュージアムショップのより魅力的なリニューアルを行うことで、来館者の満足度向上を目指す。
- ・本物の文化、彦根らしさを体験ができるコンテンツをさらに洗練していく。
- ・外国人観光客をターゲットとした環境整備や誘客促進をさらに図っていく。
- ・世界遺産登録に向けて、市民や来訪者の交流促進と観光振興に対する意識の醸成を図っていく。
- ・地域にある文化資産を活用するとともに観光客の多様なニーズへの対応を検討する。